



与那国



八重山



宮古



中南部



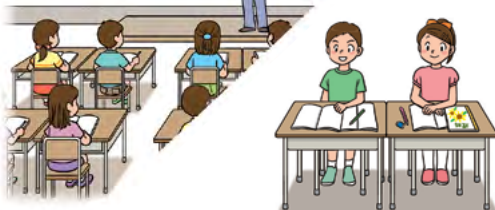
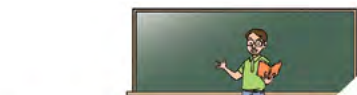
北部

しまくとぅば

読本

しまくとぅば読本

小学生



はじめに



私たちの沖縄県は、日本の南に位置しており、亜熱帯ならではの自然や、他府県とは異なる素晴らしい文化がたくさんあります。

それらの自然や文化は、私たちが祖先から受けついできた貴重な財産です。

しかしながら、地域で進む開発とともに貴重な自然は、破かいされつつあり、文化を支える「しまくとぅば」も、消めつが危ぐされる状きょうにあります。

「しまくとぅば」は、地域の伝統行事や年中行事などで使われる大切な言葉であり、組踊くみおどりや琉球舞踊りゅうきゅうぶよう、沖縄芝居しぱいなどといった沖縄文化の基層きそうを成し、いわば沖縄県民にとってのアイデンティティのより所でもあります。

沖縄県は、県民が「しまくとぅば」に対する関心と理解かいを深め、後世に「しまくとぅば」を継承けいしていくため、平成18年3月に、9月18日を「しまくとぅばの日」としました。

この『しまくとぅば読本』は、県内の小学生・中学生のみなさんに、「しまくとぅば」の良さを知ってもらうとともに、日ごろから「しまくとぅば」に慣れ親しんでもらうために作成されたものです。

「しまくとぅば」は、地域によって、表現や発音が異なります。

本書では沖縄島中南部、北部、宮古みやこ、八重山やえやま、与那国の5つの地域から、それぞれ1地区を取り上げて調査をした上で、その地区の「しまくとぅば」をあつかっています。

まずは、本書を読んでもらい、自分の住んでいる地域の「しまくとぅば」を使ってみて、他の地域とのちがいを知ってみましょう。

もしかしたら、家庭では、住んでいる地域とは異なる「しまくとぅば」を使っているかもしれません。

その時は、他の地域の「しまくとぅば」とのちがいを比べてみても面白いと思います。

「しまくとぅば」を学ぶことは、沖縄に住む自分たちのことを知ることであり、地域を知ることにもつながります。

この『しまくとぅば読本』を多くの皆さんに活用してもらい、「しまくとぅば」のふきゅう、けい承しょうに役立つことを願っています。



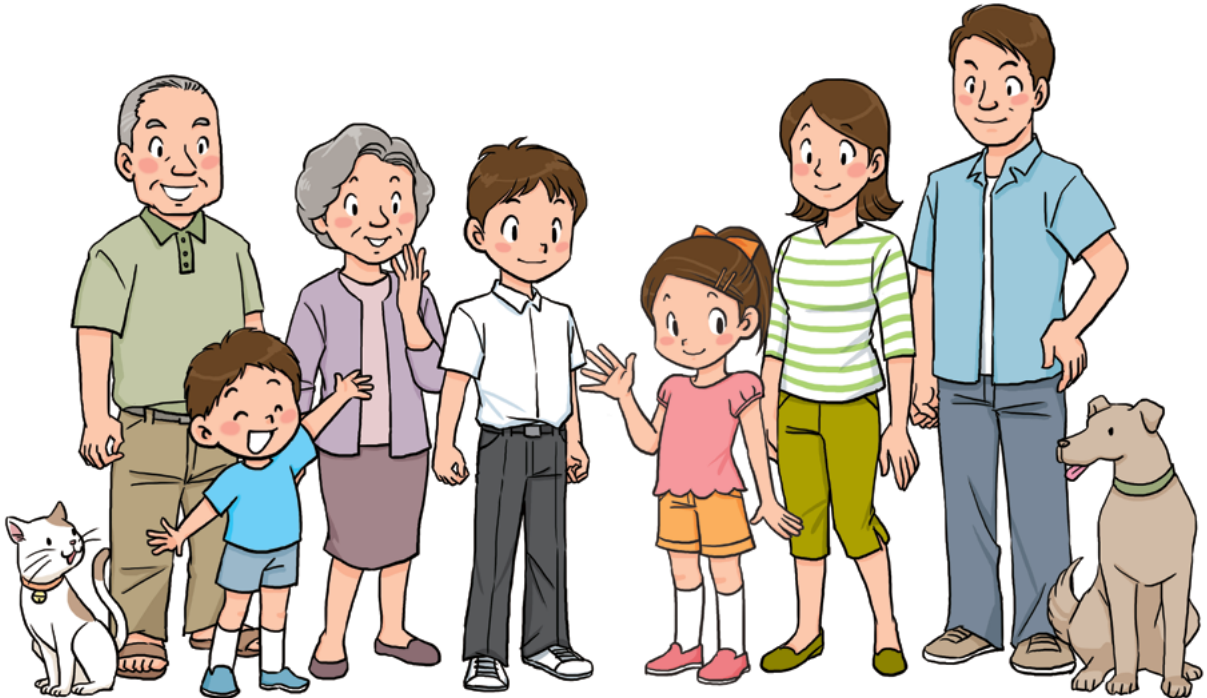


しまくとぅば

読本

しまくとぅば読本

小学生



※ CD に収録されている内容は、話者によって本文とは異なる場合があります。

「しまくとぅば読本」の使い方

○ 本書では、みなさんと関わりの深い学校生活や家庭での出来事、昔から受けつがれてきた地域の行事や年中行事など、場面ごとにテーマが変わります。

始めから順序よく読んでいても良いですし、自分の好きな場面から読んでみるのも、ひとつの方法です。

○ どんな場面での会話なのか想像できるように、イラストを多く使いました。

最初に、中南部の「しまくとぅば」についているイラストを見ながら、それぞれの場面を想像して読むといいですね。

○ 5つの地域（地区）の言葉を、一目で区別できるように文字色を分けて表現しています。

- 赤色：中南部（那覇市那覇の言葉）
- 茶色：北部（名護市久志の言葉）
- 緑色：宮古（宮古島市平良の言葉）
- 青色：八重山（石垣市四箇の言葉）
- 桃色：与那国（与那国町祖納の言葉）



○ 本書の付録CDで、音声を聞くことができます。

「▶」「▶▶」のマークをクリックしてみましょう。

○ 見開きページの右上部に、「メモ」ができる空らんを設けています。

気づいたことや、調べた言葉を記録するのに活用してください。

○ 本書に出てくる「しまくとぅば」のさく引を巻末に付けました。

わからない言葉の意味を調べるときに使うと便利です。

○ 「しまくとぅば」の表記は、かた仮名やローマ字で表すなどいろいろな方法があります。

本書では、みなさんが日ごろから慣れ親しんでいる平仮名を用いています。

ただ、「しまくとぅば」で表現するのがむずかしく、共通語をそのまま使っている言葉に関しては漢字やかた仮名で書いてあります。

○ 「しまくとぅば」には、五十音では表現できない言葉があります。

それを表現するために、特別な表記を使っています。

本を読む前に、次のページにある「特別な表記について」の説明を読みながら、付録CDを聞いて確かめましょう。

○ 漢字に関しては、小学5年生以上で学習する漢字にはふり仮名を付けました。ふり仮名のない漢字は、4年生までに学習した漢字です。

また、地域名や固有名詞にはできるだけふり仮名を付けるようにしました。



特別な表記について



本書を活用する際、「つわ」や「が」など、日ごろ目にするのがない表記があることに気がつくと思います。これは、「しまくとぅば」の発音が五十音でうまく表現できない音を表すものです。これらの表記についてはここでかん単に説明しますが、説明だけでは分かりにくいと思いますので、付録のCDを開いて音声を確にんできるようにしました。

①のどをつめて発する音（喉頭化音 - こうとうかおん -）

発音の出だしののどをつめて発する音が喉頭化音で、表記は、左上付きの「つ」を付けて表しました。例えば、那覇くとぅばで、「わー」とは「私」を意味しますが、のどをつめて発する「つわー」という表記は「ぶた」の意味になり、全く意味がちがう言葉になります。

中南部では、他にも「つやー（君）」「つんむ（いも）」などがあります。北部でも同じように「つまーり（生まれ）」「つめーし（おはし）」など、与那国でも「つていぶに（口）」「つくいてい（作って）」などと、発音されていますので、本書でもそのように表記してあります。なお、与那国の語中の「つ」は、単語の区別に使用されないのので省きました。

②中間の音を表す（中舌母音 - なかじたぼいん -）

中間の音が発するのが中舌母音です。表記は、「い」と「う」の中間の音を表す「いう」があります。「え」と「お」の中間の音を表す「えう」があります。

特に、宮古地方や八重山地方で多く使われ、平良では、中舌母音を発するときに軽い「ス」や「ズ」の音がともなう「びうぎ（ひげ）」、「まいう（ご飯）」などがあり、石垣でも「ばしう（おはし）」、「きうんだいくに（島ニンジン）」などと発音されます。

③鼻にかかる音（鼻濁音 - びだくおん -）

ガ行が鼻にかかり濁音となる音を鼻濁音といい、現代共通語にもあるガ行の表記に上付きの「ㇿ」を付けて表しました。

よく使われるのは与那国で、「あんが（私の）」「まんぐ（孫）」「なんぎる（投げる）」などがあります。

④歴史的仮名づかいで表す音

w音を表す表記として古代語の表記を利用し、wiを「ゐ」、weを「ゑ」、woを「を」で記しています。「を」は、現代共通語では「絵をかく」などのような格助詞を表す言葉として表記しますが、現代共通語でw音は消めつてしまい、実際の発音では「お」となります。

中南部では、「ゐきが（男）」「つゑんちゆ（ねずみ）」などに使われ、北部でも「ゐきがー（男）」「つゑみ（指）」「つゑちちゆー（ねずみ）」などに使われます。

このw音（ワ行音）の一部は、平良では「ばん（私）」「ぶとう（夫）」、石垣では「ばぬ（私）」「ぶとう（夫）」のようにバ行音になります。

⑤唇に歯を軽くつけて発する音

宮古島の表記で「ふう」のように、上付きの「ふ」になっているものは、共通語の「ふ」とは異なり、英語のような唇歯音（上の前歯の先端を下唇に軽くつけて出す音）fです。「ふうちう（口）」「ふあっとー（いただきます）」「ふいーさーち（お願いします）」。唇歯音は、他に「つうあ」のようにvの音もあります。

⑥唇を閉じながら発音する「ん」の音

宮古島で「む」のように「む」の小文字で表記されているのは、唇を閉じながら発音する「ん」の音です。「むちう（道）」「いむ（海）」などに使われます。

この他にも見られない表記が出てきますが、音声を聞きながら確かめましょう。

目次



1 自己紹介・家族紹介

こんにちは。私の名前は、 ^{ゆき} 夕希です。……………	6
私の家族です。紹介（お知らせ）します。……………	8
身体を表す言葉。……………	10

2 一日の生活

今日も一日が始まります。……………	12
朝ご飯は、しっかり（きちんと）食べなさいね。……………	14
いっしょに学校へ行く。……………	16
どんなことを習っているのかな。……………	18
休み時間のときには……。……………	20
今日の給食は何だろう？……………	22
今日も頑張って勉強したよ。……………	24
家に帰ってから、友だちと遊ぶ。……………	26
今日は良い日だった。……………	28

3 遊び

きれいな花を ^{さが} 探しに行こう。……………	30
草花で遊ぼうよ。……………	32
草花や草木の名前を調べてみよう。……………	34
こん ^{ちゅう} 虫や動物の名前や鳴き声を調べてみよう。……………	36

4 買い物・外食

これから買い物に行く。……………	38
お店にて、買い物をする。……………	40
今日は、外に食べに行こう。……………	42
おいしいものは、何があるのかな。……………	44

5 観光案内

^{おきなわ} 沖縄島中南部のいろんな所をご案内しましょう。……………	46
沖縄島北部のいろんな所を案内しましょう。……………	48
これからは ^{みやこ} 宮古のあちこちをご案内しましょう。……………	50

これからは ^{やえやま} 八重山のあちこちをご案内しましょう。……………	52
これからは ^{よなくに} 与那国のいろんな所をご案内しましょう。……………	54

6 年中行事

私たちの ^{ふるさと} 故郷のはりーは、見事なものだ。（中南部）……………	56
私たちの島の村おどりは、見事なものだ。（北部）……………	58
ぱんとうーは、宮古でも有名な祭りなんだよ。（宮古）……………	60
私たちの島の豊年祭は、見事なものだ。（八重山）……………	62
私たちの島の豊年祭は、見事なものだ。（与那国）……………	64
良いお正月です。……………	66
むーちーを作って、年の数のむーちーを下げよう。……………	68
今日は ^{せいめいさい} 清明祭。みんなで ^{ほか} 墓参りに行こう。……………	70
今日は十六日祭。みんなで墓参りに行こう。……………	71
今日から ^{ぼん} お盆。おむかえしましょう。……………	72
今日は、妹の十三祝い。きれいな着物が似合っているね。……………	74
満一 ^{さいたん} 歳の誕生祝いに招待された。……………	76

7 ことわざ・言葉

昔の人たちのことわざを大切に下さい。（中南部・北部）……………	78
昔の人たちのことわざを大切にしよう。（宮古）……………	80
昔の人たちのことわざを大切にしよう。（八重山）……………	82
昔の人たちのことわざを大切にしよう。（与那国）……………	84
みんなの気持ちを伝える言葉。……………	86
しまくとうばは、おもしろい（その1）……………	88
しまくとうばは、おもしろい（その2）……………	90
私達の ^{いき} 名前や地域は何ていうかな。……………	92
^{わざわ} 災いに会わないためには。……………	94
『大造じいさんとがん』をしまくとうばで書いてみると。……………	96
しまくとうばを使ってみよう。……………	98

●この本に出てくる「しまくとうば」……………	100
------------------------	-----

